

ふじい弘之 ちば県政報告

令和4年 春号



今回は、議会質問ではなく、前号から本年2月までの議会活動についてご報告します。

被災者の生活再建支援を

2021年11月9日、竜巻の可能性が高い「突風」により、富津市で34棟にのぼる家屋被害が発生しました。鈴木和宏県議、関野市議とともに現地視察を行い、市長とも面談の上、県に対する要望を伺いました。

この調査活動を踏まえて、11月12日に熊谷俊人知事に対して「千葉県被災者生活支援事業の適用要件緩和を求める要望書」を提出しました。全壊家屋一世帯で支援対象にすること、被災市町村の負担軽減等が申し入れの主な内容です。

同制度は、公明党の主張で実現したものです。今後も、より被災者の生活再建に資する制度となるよう取り組んで参ります。

成田国際空港を視察

2021年11月17日、成田国際空港エアカーゴ・ターミナルを視察しました。

コロナ禍にあつて、成田国際空港の旅客数は激減しました。しかし、一方で航空貨物取扱量は過去最高を記録しました。

この傾向は今後も継続することと思われる。そこで、現在の人手不足に対応した自動化施設の整備状況、従業員の働きやすい環境づくりなど貨物取扱品質向上への取り組みについて現場を視察、意見交換させていただきました。

千葉県としても周辺交通網の早期の整備など、アクセスの一層の向上に取り組んで参ります。



県立松戸高校を視察

松戸高校芸術科は、千葉県立高校で唯一の美術・工芸の専門学科です。そして、その教育目標として、「次世代の美術・工芸・デザイン界を担う人材育成」を掲げています。

そこで11月22日、その教育目標を達成するための教育環境がどこまで整っているか視察させていただきました。

同校では、生徒も教員も熱心に取り組む、全国的な活動を行っています。やはり普通教室を改修した建物です。施設面には限界があります。

今後はこの教育目標にふさわしい施設となるよう要望して参ります。

東京都立総合芸術高等学校を視察

12月23日、東京都立総合芸術高等学校を視察しました。

同校は、美術科・舞台表現科・音楽科の3つの学科を設置した都立高校で唯一の芸術科の専門高校です。視察目的は、県立松戸高校との設備面での比較です。

どの高校であれ、質の高い講師陣の確保が非常に難しいことには変わりありませんが、設備面での格差は可能な限りなくしたいものです。千葉県の高校生がより充実した教育環境を得られるよう一層配慮をしてまいります。その意味で大変勉強になった一日でした。



飲酒運転根絶へ向けて

12月21日、飲酒運転根絶を目指す条例が全会一致で可決しました。それを機に、公明党千葉県議団として、あらためて八街市の事故現場を訪れました。

すでに、市によってガードレールや、自動車の速度抑制のための狭さくのポール、ハンブと

今回成立した条例は、罰則が緩いとの声があります。しかし、条例の罰則を強化することが目的ではありません。あくまで運転者が絶対に飲酒運転をせず、安全運転をするようになることが目的です。

運転者全員の自覚によって、これが実現できることが望ましいことは言うまでもありません。交通安全に一層取り組んで参ります。

臨時医療施設の整備で新型コロナウイルス対策を

千葉県は、新型コロナウイルス感染症に対応して、約1800の病床と約2000の宿泊所を確保しています。しかし、それでもなお病床が逼迫する恐れがありますので、さらに3か所の臨時医療施設を設置しました。

そこで12月22日、稲毛区に設置した臨時医療施設を視察しました。病床には酸素の配管を通し、24時間対応の医師や医療スタッフが常駐しています。

そして、症状が軽度になれば病床を空けられるように、同じ敷地内に約50の臨時宿泊施設も設置しました。このような重層的な新型コロナウイルス対策により、県民の命を守って参ります。

議案説明を受ける

2月2日、「令和4年度当初予算案」ならびに2月定例会県議会提出議案の説明を受けました。予算案は、地方自治法210条の規定により年度開始前30日までに議会に提出されなければならないことになっています。

今回の提出議案は92本、そのうち予算関係が47本。追加議案もある予定ですので最終的には100本ほどになるでしょう。



議案の賛否の判断こそ議員としての最も重要な役割です。議員になつたばかりの頃、「議案審議、賛否の判断に夜も寝られないほど悩んだことがあるか」と問われたことがあります。まさにそのような思いで賛否に臨まなければならないと常に自らを戒めております。

重症心身障害者の支援を

2月9日、熊谷知事あてに「障害児者が将来にわたり安心して暮らすことの出来る施設設置要望」と「心身障害児者（重度・医療的ケア児者含む）入所施設建設の要望」の2本の要望書を提出しました。一つは公明党県議団としてのものですが、もう一つは葛南地域の船橋はじめ5市の肢体不自由児者の「父母の会」のものであります。あまりに急な新型コロナウイルス蔓延という事態になり、公明党県議団が父母の会の代理で提出することになりました。

東葛北部地域では、2014年4月に柏市に重症心身障害者施設が開設されていますが、同じように人口の多い葛南地域にも設置してほしいという要望です。

県議団の毎年の予算要望の中にも「重症心身障害児者施設の整備促進」「医療的ケア児者への支援拡充」をうたっています。実現に向けて一層努力してまいります。



県政に関するご意見ご要望を、お寄せください。
fujii.komei@gmail.com